

第 343 回 所長会議議事要旨

日 時 令和6年6月28日(金) 13:30 ~ 14:30

場 所 管理棟大会議室 + ウェブ (Teams) 併用

出席者

- 【構成員】 浅井機構長、足立理事、長野理事、花垣理事、齊藤素粒子原子核研究所長、船守物質構造科学研究所長、小関加速器研究施設長、波戸共通基盤研究施設長、小林 J-PARC センター長 (東海キャンパス所長)
- 【オブザーバー】 住吉監事、辻監事、羽澄量子場計測システム国際拠点長
- 【管理局等】 五味田総務部長、山崎財務部長、永木研究協力部長、永野施設部長、櫻井参事役、柴原参事役、岡田安全衛生推進室長、坪監査室長、原研究協力部次長、岩見人事担当課長、由井職員担当課長、飯塚財務企画課長、飯塚経理課長、日下田契約課長、根本東海契約課長、山口研究協力課長、枝川連携推進課長、島根共同利用支援課長、河西 QUP 業務推進室長、横田施設企画課長、山本整備管理課長、鈴木資産マネジメント課長、吉田国際プロジェクト推進室専門員ほか

議 事

【1】第 342 回議事要録の確認について

資料1のとおり承認された。

【2】協議

(1) 令和7年度概算要求について

長野理事から、資料2に基づき説明があり、審議の結果、「3. 中規模研究整備分 (設備関係)」1番目の事項名を修正することを前提に了承された。

なお、「3. 中規模研究整備分 (設備関係)」2番目の事項については、KEK-PIP においてカテゴリー I として掲げている次期放射光源に向けた研究開発に係るもので、他の学術研究機関と共同で進めていることからユーザーコミュニティも相当期待している。KEKSAC において整備の遅れに懸念が示されていることもあり、引き続き尽力いただきたい旨のコメントがあった。

(2) 令和6年度減価償却引当特定資産の取崩しによる予算措置について

長野理事から、資料3に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(3) 東海村と J-PARC センターとの連携協力に関する協定の締結について

小林センター長から、資料4に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

J-PARC センター側の費用負担の有無について質問があり、東海村の古墳の内部を非破壊で調べるミュオンのプロジェクトについては、100%東海村負担であるが、今年度東海村の事業として予算措置され夏に開催する J-PARC 展については、広報の観点で重要なイベントとの認識から J-PARC センターにおいても一部負担予定であるなど、ケースバイケースである旨の説明があった。

(4) KEK と CERN との間における共同研究協定に関する補記 No. 27 の締結について

花垣理事から、資料5に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(5) 教員公募 (物構研・教授1名・中性子)

船守所長から、資料6に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(6) 教員公募（物構研・助教1名・放射光一系）

船守所長から、資料7に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(7) 教員の特定人事について（物構研・教授1名・低速陽電子実験施設）

船守所長から、別途配信資料8に基づき説明があり、審議の結果、陽電子科学をどのように国際的に発展させるのかビジョンを示すことを含め、特定人事ではなく公募により人事を進める方向で、改めて本会議で審議することとなった。

なお、現在副所長の教授が低速陽電子実験施設長を兼務している状況であるが、特定人事として今回提案のあった教授との関係性について質問があり、低速陽電子実験施設の発展に注力できる人を据える必要があり当該教授を置く旨の説明があった。

(8) 特定有期雇用職員の雇用計画について（物構研・特定人事・特別教授1名・放射光施設）

船守所長から、別途配信資料9に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

<協議事項（9）はクローズド協議>

(9) 無期転換権発生予定の有期労働契約職員の昇任、雇用契約について（物構研・特定人事・特別教授1名・ミュオン）

船守所長から、別途配信資料10に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。なお、運営会議、人事委員会で適切に審議頂き、懇談会の場などで結果報告することとなった。

【3】報告

(1) 特別給与の設定について

羽澄拠点長から、別途配信資料11に基づき報告があった。

(2) 第57回機構コロキウム開催について（案）

花垣理事から、資料12に基づき報告があった。

その他（資料配布のみ）

令和6年度共同開発研究の選考結果について（資料13）

以上